

21056 心理学基礎実験b Psychological Experiments		2 年次～ 通年 3 単位	
担当者	葉山 大地	履修可能学科	W
		関連資格	心理 (W)
サブタイトル	実験を通じて心理学を学ぶ		
授業内容 ・ ねらい	<p>心理学の実験というのは、実験の計画、仮説の作成、実験によって得られた結果の分析・解釈といったいくつかの過程からなります。本授業は、皆さんに心理学の基礎的な実験を経験してもらうことを通して、心理学の研究手法についてより深く理解してもらうことを目的としています。</p> <p>前期は、毎週実験を行い、実験の手続きや結果をレポートにまとめてくるという作業を行なうことを通して、実証的な研究方法へ慣れてもらいます。前期で得た知識や手法を基にして、後期はグループに分かれ実験や調査などを実際に立案・実施し、研究への理解を深めてもらいます。</p>		
授業計画	<p>前期は、以下の3つの領域に関する実験を行い、レポートを作成してもらいます。</p> <p>1：感覚・知覚 視覚の錯覚や重量判断といった実験を通して、人間の感覚の背景にある基本的な原理について扱います。</p> <p>2：学習・記憶 新しいことを覚えるという学習や記憶に関する実験を通して、人かどのように学習を行うかを扱います。</p> <p>3：対人関係 他者に対する印象形成や対人的な葛藤に関する実験を通して、対人的な場面における人の行動原理を扱います。</p> <p>後期は、3名～4名のグループに分かれ、グループごとに興味がある調査、実験のテーマを設定し、実際に計画した調査や実験を実施してもらいます。</p> <p>具体的には、[1]調査もしくは実験テーマを設定、[2]調査や実験などの方法の決定、[3]調査や実験の実施による数量的なデータの収集、[4]データの分析、という4つの作業を行います。</p> <p>最後に、目的、方法、結果、考察の順序に研究成果をまとめ、発表します。研究の成果は、最終授業時にパワーポイントを使用した発表を行なっていただきます。</p>		
教科書 参考書	教科書は特に指定しません。 参) レポート作成の際には B.フィンドレイ著 堀江達郎・細越久美子訳 1996 『心理学 実験・研究レポートの書き方』(北大路書房) が必須です。		
評価方法	出席、実験中の行動、レポートを総合して決めます。		
事前準備学習 履修条件等	実験レポートの提出回数は10回を超え、それぞれ締め切り期日までにワープロで提出してもらいます。また、実験はグループで行うことが多く、出席を最重視します。途中で放棄することのないよう注意してください。		